

常任委員会

Q & A

Q 来年1月から町で取り扱う旅券（バスポート）事務事業は、担当課はどこで、住民へはどのように周知するのか。

A この事業は、県からの権限移譲事務で、来年1月4日より毎週月曜日から金曜日の間、町民税務課の窓口で受け付けます。これまでの県で扱った申請実績は、月当たり22件程度です。住民の皆様への周知方法は、10月号広報で「町でバスポート申請ができます」と、さらには12月号広報では申請手続の詳細についてお知らせします。

Q 学童送迎用スクールバスの耐用年数がきて老朽化し、更新するという計画については、現在のバスの年式と何人乗りのバスを購入予定か。また、廃車の費用は。

A 現在、昭和60年と平成5年式の40人乗り2台のバスで学童を送迎しています。昭和60年式バスについては、老朽化による故障等も大変懸念されることから、今後の東西小学校のバス利用学童数の推移を勘案して、西小学校の送迎用に29人乗りバスの導入を予定しています。なお、購入費用の2分の1は、関口宇一氏（前林出身）からの寄附金3百万円を充てさせていただきます。廃車費用は、7千円です。



更新予定のスクールバス

Q 橋梁長寿命化修繕計画策定業務で、対象となる橋7本の寿命はどのくらいか。また、検査方法や委託先は。

A 橋の一般的な寿命は50年、60年とされていますが、点検及び修繕を実施することにより、その寿命を100年程度まで伸ばすための長寿命化対策を行うものです。検査方法として昨年度は職員による目視、振動観察等を行いました。今年度は15メートル以上の橋梁の詳細点検・調査を実施し、台帳化を図り今後の修繕までの工程を含めた計画を策定します。委託先については、指名競争入札により決定します。

Q 乗用芝刈り機的能力は。

A 作業刈り巾は、前後進約1メートルの範囲を刈ることが可能です。使用用途は主に町内公園の管理運営に使います。



町道8号線にかかる川原橋（幸主地先）

Q 道路の補修・整備についての緊急性の観点はどのように考えているのか。

A まず幹線道路を緊急性の高いものとして考えているほか、老朽化が著しい区間や陥没等の危険箇所など、交通への支障をきたしている区間を優先的に整備しています。